

高山市行政経営本部 第1回「DX推進部会」結果報告

【日時】 令和3年5月18日（火） 午後1時00分～3時15分

【場所】 高山市役所地下 大会議室

【出席】 28名

部会メンバー25名（うちオンライン参加1名）

外部有識者3名（うちオンライン参加1名）

【概要】

今秋の「高山市DX推進計画（仮称）」の策定に向け、庁内の若手職員26名に地域IT人材（外部有識者）3名を加えて設置した「DX推進部会」について、全5回実施予定のうちの第1回の会議を開催した。

オンライン2名を含めた全28名の参加があり、部会の意義や各メンバーの人柄等を全員が共有する機会となったほか、今後、具体的な議論を進めるための素地が整えられた。

5月27日（木）第2回の開催に向けて、各所属に関係する「オープンデータ（例：AEDや公衆トイレの設置場所一覧など）」を一つ作成・提出するよう求めた。

【詳細】

1. 趣旨説明

○資料等に基づき、部会設置の意図や役割、メンバーに期待することなどを説明

2. 自己紹介

○事前提出を求めたシートに基づき、各2分程度で自己紹介

○各メンバーの人柄等を知るとともに、各業務における困り事などについて情報共有

○部会メンバーの選出方法に対する不満、公私の生活に対する影響（負担増）を心配する意見あり
→無理ない範囲での協力について改めて依頼

○設置要綱に基づき、互選により部会長を選出（立候補者なし、最年長者の行政経営課長で了承）

3. 話題提供（外部有識者「田口喜大氏」）

○デジタルに相当する日本語はまだない（平井デジタル改革大臣出演の動画紹介）

○デジタル事例（スマホ、メルカリ、ネットフリックス、映画予約、日程調整、電子契約、ビデオ会議、オンラインホワイトボード、フルリモートワークチーム、オンラインフェス、クラウドファンディング）

○デジタイゼーション（業務のIT化）→デジタルイゼーション（事業のデジタル化）
→デジタルトランスフォーメーション（組織や社会のデジタル革命）

広い意味ではIT化なども含めて全体でDX

○真のDXができてるのは民間でもほんの少数

足元のIT化・デジタル化も含め、着実に進めると良い

○facebookでも質疑は受けさせてもらう

4. オープンデータ（行政経営課長）

○資料に基づき、オープンデータ整備の必要性、職員誰もが身近なテーマであることを説明

○次回までに、担当業務におけるオープンデータを1つ作成し提出することを依頼

《質疑》

Q. DXはなぜ推進しなければならないのか？

A. 市長指示を受け、全庁的な取組みを進めているもの。社会全体でDXが進められる流れがあり、外部有識者田口氏らの世界ではすでに常識になっているなか、市役所だけはこれまで通りという訳にはいかない。組織や社会、ITも含め、様々な面からDXに取り組む必要性が高まっていると考える

Q. 目標は定まっているのか。目標自体から探さなければならないのか？

A. DX推進計画のなかでKPI（例えば、行政手続きオンライン化の割合など）をいくつか設定し、達成に向けてどのような取組みをすべきか等を盛り込んでいきたい

Q. 計画を作ったとしても、実現できるのか。例えば、タイムカードはデータ管理されているのに紙で取り扱っているが、そのように簡単なことすらできていないのに、違うことが進められるのか？

A. タイムカードの話は同感。そのような点に気付いた人が、周囲を巻き込むなかで変えていく取組みがDXと捉えており、一緒に進めていける仲間づくりができると良いと考える

Q. 民間と異なって行政は法令上の厳しい情報セキュリティが課せられていることが多い。国で緩和の動きがあれば、市としても動きがとりやすくなるがどうなのか？

A. 個人情報保護法は、デジタル化の流れのなかで3つの法律をひとまとめにし、使いやすくする改正が行われており、逆に個人情報保護上、大丈夫かといった議論があることは承知している。コロナ対策の給付金の支給等が諸外国と比べ大きく劣っていたことを国も反省し、デジタル庁の創設やデジタル化に馴染みやすい法改正などが進められている流れがあると理解している

A. 平井デジタル改革大臣は、給付金の給付に多額の費用をかけ、給付までに数か月もかかるなど「デジタル敗戦」という表現を使い、コロナ禍で課題が露呈したと国でも危機感をあらわにしている

《連絡事項等》

○各個人の自己紹介に対する質疑、田口さんの話題提供に対する質疑は、第2回出欠の入力フォームに欄を設けるので、あれば記入すること

○次回、第2回は「デジタル技術を活用したBPR」としてグループワークをしたい。戸籍証明の郵便請求、各種補助金の交付申請関係を例に記載したが、各自の経験などでテーマとして取り上げたら良いと思う例があれば、同じく入力フォームに設ける欄に記入すること

以上